学校番号	J3026

令和８年度　社会科

学年	3	週授業コマ数	4	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	○
使用教科書	東京書籍『新しい社会　歴史』、東京書籍『新しい社会　公民』						
副教材等	とうほう『みつけよう？と！　歴史資料』、とうほう『ビジュアル公民　2024』						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史や社会の仕組みを、自分の言葉で説明するプレゼンテーションを通して、物事を自分の納得のいくまで探求し、またその内容を相手にわかる言葉で表現する経験を積み、理解を深めると共に、コミュニケーション力も身に付けてほしいと考えています。また、クラスメイトの表現に触れ、質問を考えることを通して、与えられた情報を受け取るだけではなく、得た情報を自分の中で整理して再構成する習慣をつけてほしいと思います。レポートでは、正解のない問いに対して、自分なりに真摯に考えているかを評価するので、「課題をこなす」のではなく「自分事として考える」ことを意識して取り組んでください。

2　学習の到達目標

(1) 日本や世界の歴史的・公民的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の歴史的・公民的特色を考察し理解させ、歴史的・公民的な見方や考え方の基礎を培い、我が国及び世界の諸地域に関する歴史的・公民的認識を養う。
(2) 日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は、相互に関係し合っていることや各地域の特色には特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
(3) 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、歴史的・公民的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して、歴史的・公民的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。
(4) 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会において主体的に生きると共に、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【歴史】 日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【公民】 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【公民】 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【公民】 現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	開国と近代日本の歩み	日清・日露戦争と近代産業	a：世界大戦前後の政治の動き、および文化の特色、社会の変化を国際情勢を踏まえて理解している。冷戦の発生とその激化について把握するとともに、日本の進路が占領政策と冷戦の進行によって大きな影響を受けたことを理解している。 b：世界大戦による被害の大きさやその反省から生じた世界の新しい動きを読み取っている。 c：高度経済成長期以降の日本の足取りと、日本が国際社会のなかで果たすべき役割を主体的に追求し、理解しようとしている。	定期テスト 小テスト 授業振り返り	授業振り返り レポート	授業振り返り レポート
	二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と日本 大正デモクラシーの時代 世界恐慌と日本の中国侵略 第二次世界大戦と日本				
	現代の日本と私たち	戦後日本の出発 冷戦と日本の発展 新たな時代の日本と世界	a：現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」などの視点があることを、具体的な社会生活と関連づけて理解している。日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原則としていることについての理解を深め、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事行為、国会と内閣の仕組みについて理解している。			
2	現代社会と私たち	現代社会の特色と私たち 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方	b：民主政治のしくみのあらましやマスメディアの影響力、考え方について複数の資料から読み取り、主権者として政治に参加する意義についてその意味や意義を理解し、自身の考えを表現することが出来る。 c：現代社会の政治にかかわる諸事象について、これまでの学習を振り返りながら主体的に追究、解決しようとしている。	定期テスト 小テスト 授業振り返り	授業振り返り レポート	授業振り返り レポート
	個人の尊重と日本国憲法	人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障				
	現代の民主政治と社会	現代の民主政治 国の政治の仕組み 地方自治と私たち				

3	私たちの暮らしと経済	消費生活と市場経済 生産と労働 市場経済の仕組みと金融 財政と国民の福祉 これからの経済と社会	a：暮らしと経済との関係、その背景にある流通の役割について理解している。また、消費者の権利の重要性と、消費者の自立を支援する消費者行政の意義や企業、それらに関わる財政に関することについて理解している。 b：経済のしくみついて複数の資料から読み取り、自身の考えを表現することが出来る。 c：現代社会の経済にかかわる諸事象について、これまでの学習を振り返りながら主体的に追究、解決しようとしている。	定期テスト 小テスト 授業振り返り	授業振り返り レポート	授業振り返り レポート
	地球社会と私たち	国際社会の仕組み さまざまな国際問題 これからの地球社会と日本				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度